

豊かな自然と向き合いながら人間らしく生きていきたい、安心安全な環境のもとで子育てをしたい、地方でクリエイティブな仕事にチャレンジしたい、自らの力で地域を活性化したいなど、若い年齢層を含めて日本人の価値観や人生観が変化を遂げ始めているように感じます。

鳥取県は、童謡・唱歌「ふるさと」を作曲した音楽家、岡野貞一の生誕の地です。この日本の「ふるさと」鳥取県に移住された方は、平成23年度は504名（299世帯）、平成24年度は706人（434世帯）と、大幅に増えています。中山間地域で居酒屋を開業された方、空き校舎を活用してアートミュージアムとして展開された方など、地元にはない移住者の目線で地域に活力を生み出していこうとする動きもみられるようになりました。

移住された方からは、「新鮮でおいしい野菜、果物、魚介類が安く買える。おそらくでもうえる」ともあり、感動した。「地域みんなで、子どもを見守り、育ててくれて、安心だ。」「地元の人とのふれあいが楽しく、この地域にずっと住んでいたい。」など、「とつとり暮らし」を満喫されている声を伺っています。移住者同士の交流も盛んです。毎月1回、鳥取県内各地

で「I J U c a f e」という移住者の交流会を開催しているNPO、定期的に自然体験活動や地域活動を行っているNPOもあります。

人口減少や少子高齢化の深刻化が懸念される中で、ふるさと回帰の動きは、人口減少への歯止め、地域社会の維持や活性化に寄与するものとして、大いに感じます。

で「I J U c a f e」という移住者の交流会を開催しているNPO、定期的に自然体験活動や地域活動を行っているNPOもあります。

人口減少や少子高齢化の深刻化が懸念される中で、ふるさと回帰の動きは、人口減少への歯止め、地域社会の維持や活性化に寄与するものとして、大いに感じます。

で「I J U c a f e」という移住者の交流会を開催しているNPO、定期的に自然体験活動や地域活動を行っているNPOもあります。

人口減少や少子高齢化の深刻化が懸念される中で、ふるさと回帰の動きは、人口減少への歯止め、地域社会の維持や活性化に寄与するものとして、大いに感じます。

連載
第7回

ふるさと回帰運動への想い



日本の“ふるさと” 鳥取県で新たな暮らしを 始めてみませんか。

鳥取県知事
平井伸治

1961年生まれ。東京大学法学部卒業とともに
自治省（現総務省）入省。01年、全国最年少で
鳥取県副知事就任。選挙部政党助成室長、
自治体国際化協会ニューヨーク事務所長としての米国勤務を経て
07年総務省退職。同年鳥取県知事就任。

に期待しており、県でも移住定住者の支援を年々充実させていくとのことです。

今年度からは、「限界集落」と表現された小規模高齢化集落への若者の移住定住促進の取組を始めました。近年、若い年齢層の移住者が増え始めていることから、これらの若い方に小

規模高齢化集落に居住していただき、防災や農地保全、伝統文化の継承などを通じて、ふるさと市町村と連携して、小規模高齢化集落への人口減少や少子高齢化の深刻化が懸念される中で、ふるさと回帰の動きは、人口減少への歯止め、地域社会の維持や活性化に寄与するものとして、大いに感じます。

I J U c a f e 連載 第7回

ふるさと回帰運動への想い

鳥取県知事 平井伸治

1961年生まれ。東京大学法学部卒業とともに
自治省（現総務省）入省。01年、全国最年少で
鳥取県副知事就任。選挙部政党助成室長、
自治体国際化協会ニューヨーク事務所長としての米国勤務を経て
07年総務省退職。同年鳥取県知事就任。

規模高齢化集落に居住していただき、防災や農地保全、伝統文化の継承などを通じて、ふるさと市町村と連携して、小規模高齢化集落への人口減少や少子高齢化の深刻化が懸念される中で、ふるさと回帰の動きは、人口減少への歯止め、地域社会の維持や活性化に寄与するものとして、大いに感じます。

I J U c a f e 連載 第7回

ふるさと回帰運動への想い

鳥取県知事 平井伸治

1961年生まれ。東京大学法学部卒業とともに
自治省（現総務省）入省。01年、全国最年少で
鳥取県副知事就任。選挙部政党助成室長、
自治体国際化協会ニューヨーク事務所長としての米国勤務を経て
07年総務省退職。同年鳥取県知事就任。

なか暮らしコーディネーター」を配置しており、また、東京と大阪のふるさと回帰支援センターに鳥取県ブースを出展し、相談会の開催、ポスターの掲示、チラシの配架を行うなど、相談体制を年々充実させているところです。また、市町村による移住定住促進の特別に用意して呼びかけています。

規模高齢化集落に居住していただき、防災や農地保全、伝統文化の継承などを通じて、ふるさと市町村と連携して、小規模高齢化集落への人口減少や少子高齢化の深刻化が懸念される中で、ふるさと回帰の動きは、人口減少への歯止め、地域社会の維持や活性化に寄与するものとして、大いに感じます。

I J U c a f e 連載 第7回

ふるさと回帰運動への想い

鳥取県知事 平井伸治

1961年生まれ。東京大学法学部卒業とともに
自治省（現総務省）入省。01年、全国最年少で
鳥取県副知事就任。選挙部政党助成室長、
自治体国際化協会ニューヨーク事務所長としての米国勤務を経て
07年総務省退職。同年鳥取県知事就任。

規模高齢化集落に居住していただき、防災や農地保全、伝統文化の継承などを通じて、ふるさと市町村と連携して、小規模高齢化集落への人口減少や少子高齢化の深刻化が懸念される中で、ふるさと回帰の動きは、人口減少への歯止め、地域社会の維持や活性化に寄与するものとして、大いに感じます。

I J U c a f e 連載 第7回

ふるさと回帰運動への想い

鳥取県知事 平井伸治

1961年生まれ。東京大学法学部卒業とともに
自治省（現総務省）入省。01年、全国最年少で
鳥取県副知事就任。選挙部政党助成室長、
自治体国際化協会ニューヨーク事務所長としての米国勤務を経て
07年総務省退職。同年鳥取県知事就任。

